

アイヌ施策推進地域計画 目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	目標年度
北海道余市町	余市町アイヌ施策推進地域 計画	令和 6 年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における（中間）目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B／A	備考
よいち水産博物館来館者数	3,780 人/年	2,888 人/年	76%	
旧下ヨイチ運上家来館者数	5,140 人/年	3,231 人/年	63%	
アイヌ文様ラッピング車両の利用者数	1,740 人/年	885 人/年	51%	

アイヌ施策推進地域計画における目標	達成状況	備考
よいち水産博物館来館者数	町全体としてコロナ前の観光入込客数に回復しておらず、観光需要の変化などから目標値の達成に至らなかった。	
旧下ヨイチ運上家来館者数	町全体としてコロナ前の観光入込客数に回復しておらず、観光需要の変化などから目標値の達成に至らなかった。	
アイヌ文様ラッピング車両の利用者数	目標設定時に想定した運行回数とならなかったこともあり、目標達成に至らなかった。	

余市町アイヌ施策推進事業評価委員会による意見等

・施設来館者数について

本計画期間において緊急事態宣言等コロナの影響により施設開館日数が通常より少ない日数となったこと、コロナの 5 類以降後も依然として外出控え等の影響があったことは否めない。しかしながら、令和 5 年度以降は法的にもコロナ感染症の扱いが変わり、コロナ前の人の流れがおおむね戻っている状況であったが、目標達成とならなかった。今後は各事業効果を最大限に發揮すべく、情報発信等を行い、本町のアイヌ文化や歴史の理解促進・普及啓発を推進する必要がある。

・アイヌ文様ラッピング車両の利用者数について

当初想定よりも運行回数が少なくなったことによる影響はあるものの、計画期間

中に目標達成とならなかったことは真摯に受け止める必要がある。計画期間終了後は本町の地域公共交通計画に基づき、本計画で実施した運行内容を基に新たな交通手段を確保する予定となっているが、本補助事業において取得した車両を引き続き使用する予定であることからも、パンフレットの掲示など情報発信等を行い、本町のアイヌ文化や歴史の理解促進・普及啓発に努められたい。

2. 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

＜観光の振興その他の産業の振興に資する事業＞

- ・アイヌ文化財保存・普及啓発事業（水産博物館の改修・修繕）

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>【事業実施経過】</p> <p>R3 年度-完了</p> <p>【事業内容・実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余市水産博物館屋上防水 余市水産博物館の屋上及び階段室の塔屋のうち、今年度アイヌ文化に関する資料を展示するために内部の改修を行う中 3 階の天井からの雨漏りを防ぐため、中 3 階直上部分の防水工事を実施、特に劣化が顕著な部分を撤去のうえ、新たな塗膜防水を施した。 ・余市水産博物館改修事業 既存の展示什器を撤去、新たな展示什器を設置し、クロス材および床材の張り替えを行い、テーマ毎のサインや導線を明確にするための誘導サイン等を設置し、照明設備を LED 化した。 	北海道 余市町
事業の効果	当該事業の実施により、文化財を適切に保存・継承することが可能となり、アイヌ文化の情報発信機能が向上した。特にアイヌ文化に関する展示スペースの拡大・リニューアルが魅力的なコンテンツとなったことから、今後も来館者の増加が期待される。 ＜関連目標＞よいら水産博物館来館者数

- ・アイヌの歴史や伝統の継承に関する理解を促進する事業（旧下ヨイチ運上家の展示設備整備）

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>【事業実施経過】</p> <p>R3 年度-完了</p> <p>【事業内容・実績】</p> <p>旧下ヨイチ運上家のほぼ中央にある「ユウカ」と古図面に記載されている板敷の一室は、これまで見学の順路に入っていなかったが、そこに展示什器（長さ 1,800×幅 900×高 1,100 mm）2 台を設置し、説明パネルやキャプション等</p>	北海道 余市町

と合わせてアイヌ関連資料の展示を開始した。	
事業の効果	
当該事業の実施により、従前展示されていなかった文化財が常設展示され、来館者がアイヌの歴史や伝統等の理解を深めることができた。今後も常設展示を目とする来館者の増加が期待される。	
〈関連目標〉旧下ヨイチ運上家来館者数	

・定額タクシーによるアイヌ関連施設を巡る観光ルート周遊事業

事業の進捗状況	事業実施主体
【事業実施経過】 R2 年度-ロゴデザイン事業完了。 R4 年度-周遊事業開始※当初 R3 より開始予定であったがコロナの影響等により R4 から開始。 R5 年度-実施 R6 年度-完了	北海道余市町
【事業内容・実績】 ・ロゴデザイン 2019 年の北海道 G20 観光大臣会合で使用されたロゴの製作等、公用・商用とも広くアイヌ文様のデザインを手がけた実績を有し、公益財団法人アイヌ民族文化財団から信を得ている事業者と契約し、本町が有するアイヌの歴史や文化財等の背景を踏まえ、本町が有する全国的にも希少なアイヌ文化財をモチーフとしたデザインを作成した。	
・定額タクシ一周遊事業 町が有するアイヌ文化関連施設と観光人気スポットを巡る観光コースを巡る定額タクシーの観光商品を開発し、本町に観光目的で訪れた方にアイヌ文化の理解促進や普及啓発を促進した。 R6-3 件 6 名、R5-6 件 12 名、R4-12 件 16 名	
事業の効果 作成したロゴデザインをタクシーステッカー・パンフレット等に使用することにより、町のアイヌ施策全体を一体感のある取り組みとすることことができた。タクシー事業ではアイヌ文化に興味のある方を本町の観光スポットに誘引することができるだけでなく、本町に観光目的で訪れた方にアイヌ文化の理解促進や普及啓発を促すことができた。 〈関連目標〉よいち水産博物館来館者数、旧下ヨイチ運上家来館者数	

・アイヌ関連施設観光サイン整備事業（看板の設置）

事業の進捗状況	事業実施主体

【事業実施経過】 R3 年度-完了	北海道 余市町
【事業内容・実績】 余市町において最大の観光客の集客地である JR 余市駅・ニッカウヰスキー余市蒸溜所付近からアイヌ関連施設（旧下ヨイチ運上家・よいち水産博物館）まで観光客を誘導できる道路上計 7 個所に看板を設置した。	
事業の効果 当該事業の実施により、町内のアイヌ関連施設（よいち水産博物館・旧下ヨイチ運上家）への誘導・周知が強化され、両施設がもつアイヌ文化の理解促進や普及啓発の機能を最大限活用されている。 <関連目標>よいち水産博物館来館者数、旧下ヨイチ運上家来館者数	

・アイヌ文化拠点施設検討事業

事業の進捗状況	事業実施主体
【事業実施経過】 R2 年度-完了	
【事業内容・実績】 本町が整備予定である「新たな道の駅」に、アイヌ文化の情報発信機能を付与するうえで、展示などアイヌ文化の見える化にあたっての基本方針を検討・策定し、官民の役割分担と「民間提案制度」への適用を図った。	
事業の効果 本事業の実施によりアイヌ文化を見える化するための基本的な考え方の整理と文化拠点施設の整備・運営に関する官民の役割分担が明確化された。本検討内容については R4 年度に実施した道の駅の民間提案募集の実施要領に町が求める要件として記載され、提案のあった民間事業者からの構想にも盛り込まれていたが、事業化に向けた協議が整わなかったことから、本計画期間中における関連目標への直接的な効果は得られなかった。 今後、本検討内容については、引き続き新たな道の駅を整備する際の条件となることから、新たな事業者等により道の駅が整備される際には、訪れる観光客や町民に対しアイヌ文化伝承活動に触れる機会が多く確保され、アイヌ文化への理解促進に寄与することができる。 <関連目標>よいち水産博物館来館者数、旧下ヨイチ運上家来館者数	

・アイヌ文様ラッピング車両整備事業

事業の進捗状況	事業実施主体
【事業実施経過】 R4 年度-運行概要作成、車内に設置する PR パンフレット作成	

<p>R5 年度-実証運行、車両整備</p> <p>R6 年度-本格運行、完了</p> <p>【事業内容・実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文様ラッピング車両運行パンフレット作成 本町のアイヌ文化関連施設である「余市水産博物館」及び「旧下ヨイチ運上家」で展示されているアイヌ文化資料等を用いて、本町のアイヌ文化の歴史や特徴を一冊のパンフレットに集約した。また両アイヌ文化財関連施設は令和 3 年度に展示機能の強化を図っており、これを十分に活かすため、展示の様子もパンフレットの内容に盛り込んだ。 ※A4 三つ折り 用紙:コート 90 kg 程度 色数:両面カラー4 色 数量:20,000 枚作成 ・アイヌ文様ラッピング車両整備 運行事業に使用する車両を購入した。※10 人乗り 3 ナンバー ・アイヌ文様ラッピング車両運行 アイヌの人々のコミュニティ活動の安定化・活性化といった生活の利便性の確保を目的として、購入したアイヌ文様ラッピング車両を使用し、郊外部と市街地間を結ぶデマンド型交通を運行した。 	
<p>事業の効果</p> <p>令和 5 年度に 2 か月間、令和 6 年度は 7 か月間の運行を実施した。目標設定時に想定した運行回数とならなかった為、目標値と実績値は大きく乖離してしまったが、導入車両が 10 人乗り（実質乗車定員 8 人）のところ、令和 6 年度運行実績では 1 便当たり平均 3 人の利用があり、デマンド方式の運行としては高い水準となっていることから、事業効果が確認できた。</p> <p>〈関連目標〉アイヌ文様ラッピング車両の利用者数</p>	

3. 今後の方針等

<ul style="list-style-type: none"> ・両施設の来館者は目標値には届かなかったが、これには様々な要因が考えられるため、効果的な施策の立案・実施には検討を要する。一方、施設整備後（R3）は整備前の来館者を下回ることはなかったことからも、施設整備の効果、関連施策の効果が確認できた。 アイヌ計画期間終了後は、引き続き各企画展や SNS 等を活用した情報発信を行い、施設利用を通じた余市町のアイヌ文化の普及啓発を行っていくほか、他のアイヌ関連文化財・施設等との連携（サイン整備・周遊ルート設計など）についても検討していく。 ・アイヌ文様ラッピング車両整備事業については、アイヌ計画期間終了後は余市町地域公共交通計画に基づき、取得した車両を活用し、R7 年度の本格運行開始を目指し交通協議会で協議を進める。
